子育てのための環境グループ

(テーマ) 社会のビジョン・日本のアイデンティティについて・子どもた ちの社会づくり参加

- 1 (新宿区)の社会としてのビジョン
 - ・新宿区 50 年後を見すえたものを考える
 - ・持続可能社会(ドイツ、フライブルグ、環境都市)
 - ・子どもも社会作りに参加させる(社会帰属意識がめばえてくる)
- 2 日本人のアイデンティティ
 - ・江戸文化をモチーフとした新しい文化の創造 (落語、浪曲、講談、職人技術)
 - ・寺子屋塾の形で伝承する。

(解決策)

ボトムアップとトップダウンのバランス (社会に一般化する)・・・メディア戦略等

(テーマ) 教師の質の向上

(現状) 教師が子どもの要望に答える余裕がない 問いに答えられない

↓ なぜ

話したくても時間の余裕がない

•集団登下校、会議

- (解決策) ① PTA (親)からの要望提出
 - ② 親と先生の信頼関係の構築
 - ③ 先生の質の向上には学校中心者、管理職校長等の質の向上
 - 一般公募、人事権を都から区へ
 - ④ 学校評議員制度の活用
 - ⑤ 先生の免許更新・仮採用時点での資質判断(朝日新聞より)

(テーマ)参加してもらうためには・・・

- ① 新宿区との協働・・・近場に、保育園、幼稚園、学校※場所の提供へ介入など(保健センター・地域センターで親の世代間へ「しゃべり場」の展開※推進協議会⇒民間
- ② 知らせ方・・・<u>ロこみ</u>、掲示板、ポスター、チラシ (ロコミが一番)

(テーマ) 青少年に対して大人ができること

行政 家庭の子育て支援、都条例の実施徹底

地域 新しい人を受け入れる雰囲気づくり 間違った性と薬物を追い出す努力

家庭 親が地域に自分から参加していく

(テーマ)

子どもの安全な居場所のためにスペースを確保するための具体策

四谷第四小学校

戸山中学校

(仮称)フェニックスプロジェクト(つくるための委員会) ※メンバーを公募する対象は、在住、在勤、在学で年齢を問わない

※資金調達

- ・資金提供者は、公的サービスを受けられる。 資金提供者は老後優先的に公的サービスを受けられる。 改修のための資金調達は参加者から一口いくらと資金を集 める(債権発行)
- ・子ども企業家ショップ3ヶ月ごとに新しくやる人を募る
- ・寄附を募る

区の協力必要

情報を一元化するために、行政も縦割りをやめ、子ども課をつくる

乳幼児グループ

(テーマ) なぜ 産まない 育てにくいか

(今日の取組み) まず現実(現場)を知らなくては

1 見学スケジュール

- ① 柏木・淀橋コース 9月9日(金)成子坂保育園→淀橋幼稚園→北新宿第一保育園・児童館(幼児サークル開催)→北新宿第二保育園
- ② <u>牛込コース</u> 9月21日(水)
 原町みゆき保育園(みゆきひろば)→薬王寺児童館(乳幼児スペース)→榎町児童センター(乳幼児スペース)→マミーズハンド神楽坂→ゆったりーの

2 課題

- ○育児の負担感・・子育ての負担感、核家族だから、子育ての時間が ない(仕事をしているから)、育児休業が取れない
- ○経済問題・・・・お金があればもっと産みたい、教育費のこと
- ○女性の生き方・・女性の人生の価値観、親としての責任がもてるか
- ○住宅・・・・・住宅が狭い
- ○生物学的限界・・年齢の問題
- ○保育園の問題・・3人目から保育料なしとか、保育園の入園手続き が面倒、保育園に入れない
- ○育児技術知識の問題・・・子育ての方法がわからない、マニュアル 子育て、本当の子育ての楽しさがわからない